

① 行動計画に関する問題

行動計画の取組がうまく進まない、目標達成の見通しが立たないという企業においては、「現状把握・課題分析」、「目標設定自体」、「取組内容」について十分に検討がなされていないという3つの要因が考えられる。

a. 現状把握・課題分析が不十分

<問題>

- ・雇用管理区分*ごとに分析されておらず、実態が正確に把握されていない
- ・現場の社員の声が反映されていない

<改善のポイント>

- ・組織全体の実態に応じて(名称など形式にとらわれることなく)雇用管理区分*ごとに正確に把握する
- ・女性活躍推進の取組の関係者(ステークホルダー)を広く巻き込む
(例:社内で検討プロジェクトチームを立ち上げ、人事労務部門の社員や女性社員、正社員以外にも検討メンバーへの参加を募る)

改善取組事例の紹介「株式会社 志摩地中海村」(P. 36)、「秋田印刷製本株式会社」(P. 37)

b. 目標設定に問題

<問題>

- ・自社における女性活躍の意義付けが十分になされていない
- ・目標が達成を実感できる有意義な内容となっていない
- ・取組期間の長さが適切でない(短すぎる、長すぎる)、実施時期の明記がない
- ・具体的な取組内容や実施回数を明記しておらず、何をするのが曖昧である

<改善のポイント>

- ・女性活躍推進の取組を経営課題として明確に位置付けることが出発点となる
- ・目標達成により、取組の効果が実感できる有意義な目標を設定する
- ・目標達成を見据えた、適切な取組の時期や方法とする

改善取組事例の紹介「株式会社 ラブ・ラボ」(P. 38)

c. 取組内容が問題

<問題>

- ・課題や目標に対応した取組になっていない
- ・表面的、一時的な対策に留まり、課題の解決につながっていない
- ・研修の対象者が限定されている等、組織全体としての女性活躍推進の取組内容となっていない

<改善のポイント>

- ・目標を達成するための選択肢を、多様な視点から検討することが解決の糸口となる
- ・目標達成のための取組であっても、単なる「タスク」に終始しては実効性に欠けてしまうため、効果検証を定期的に行う

改善取組事例の紹介「新鹿児島観光バス株式会社」(P. 39)、「スカイリーフ株式会社」(P. 40)